令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
現代の国語	2	1 年	新編現代の国語	東京書籍
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、実社会における多様な言語活動を通して、実生活に必要な国語の「知識・技能」を確実に習得させるとともに、論理的に思考し、諸課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、生涯にわたって言葉を通じて社会に参画し、我が国の言語文化を尊重しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

実社会における多様な言語活動を通じて、実生活に必要な国語の働きや役割を理解し、言葉のきまりや表現の技法に関する知識を身に付けている。また、社会生活における多様な論理的文章や実用的な文章から、事実と意見を区別して正確に情報を読み取る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

場面や目的に応じて、直面する諸課題を解決するために必要な情報を収集・分析し、論理的に思考を組み立てて的確に記述したり、互いに批評し合ったりしている。また、自分の考えを明確にし、根拠を明らかにして論理的に説明・表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉が持つ役割や重要性を自覚し、生涯にわたって言葉を通じて社会に参画しようとする意欲を持ち、自律的・主体的に国語の学習に取り組んでいる。また、他者の多様な見方や考え方を尊重し、協働的にコミュニケーションを図ろうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　23 日	こそそめスープ ルリボシカミキリの青	筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせよう。	
第　2　回 提出期限 5 月　21 日	未来をつくる想像力 水の東西	評論を読んで筆者の考えを読み取り，関心の幅を広げよう。	第　1 回　（4 月22日） ・語の意味を適切に理解し、且つ用いる。 ・漢字の読み書き ・構成や内容に基づき主題を的確にとらえ、且つ文意を適切に理解する
第　3　回 提出期限 6 月　18 日	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色 ハサミ	新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げよう。	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　24 日	鍋洗いの日々 森で染める人 動きを引き出す言葉の力	働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考えよう。	第　　2 回　（9 月2日） ・語の意味を適切に理解し、且つ用いる。 ・漢字の読み書き ・構成や内容に基づき主題を的確にとらえ、且つ文意を適切に理解する
第　5　回 提出期限 10 月　　22 日	美しさの発見 りんごのほっぺ 人生という旅の豊かな人間関係	多様な価値観に目を開き、周囲に広がる世界への理解を深めよう。	
第　6　回 提出期限 11 月　　19 日	天動説はなぜ「正しかった」か？ 真の自立とは	既存の価値観を新たな観点から捉え直し、社会の未来を考えよう。	第　　3 回　（11月11日） ・語の意味を適切に理解し、且つ用いる。 ・漢字の読み書き ・独自に用いられている表現技巧を通して、主題を的確にとらえているか

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
言語文化	2	1 年	新編言語文化	東京書籍
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、上代から近現代にわたる我が国の言語文化に関する「知識・技能」を深め、言葉に対する感性を磨くとともに、伝統的な言語文化を深く理解し、的確に記述・批評し合う「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、伝統と文化を継承・発展させ、豊かな人間性を涵養しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

上代から近現代にわたる我が国の言語文化に関する言語活動を通じて、古文や漢文を含む様々な文章の背景にある文化、習俗、および言葉の歴史的変化に関する知識を深めている。また、伝統的な言語文化に関する表現の特徴を理解し、文章を的確に音読・解釈する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

我が国の言語文化の展開について、作品の情緒や思想を繊細に感じ取りながら多角的に考察している。また、古典の世界と現代の生活とのつながりについて独自の問いを見出し、言葉に対する感性を磨きながら、自らの考えを的確に記述し評価し合っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

我が国のはぐくんできた伝統と文化を尊重し、それらを継承・発展させようとする態度を持って古典や近代の文学作品に親しんでいる。また、読書活動などを通じて豊かな人間性を涵養し、生涯にわたり日本の言語文化を主体的に愛好しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　7 日	さくらさくらさくら 心の自由 とんかつ オレンジの実る中庭	・随筆を読み、筆者のものの見方や感じ方を正確に読み取る。 ・小説を丁寧に読み、人間関係や疑似的感情を味わう。	
第　2　回 提出期限 6 月　　4 日	柳あおめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born	短歌・俳句および詩を学び、深く味わう力をつける。	
第　3　回 提出期限 7 月　　2 日	羅生門 夢十夜 デューク	小説の登場人物を通して、人の感情を汲み取る。 現実にはありえない物語を通して、想像力の豊かさを学ぶ。	第　　1 回　（6月17日） ・歴史的仮名遣い ・古語の意味 ・主語を的確にとらえ、文意を適切に理解し、主題を把握する

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 10 月　　8 日	徒然草 枕草子 折々のうた	随筆を通して、昔の人の考え方を学ぶ。 詩歌の表現技法を理解する。	
第　5　回 提出期限 11 月　　5 日	伊勢物語 平家物語 奥の細道	古典作品を通して、個人の生き方を学ぶ。 古語の知識を深める。	第　　2 回　（１０月２１日） ・歴史的仮名遣い ・古語の意味 ・主語を的確にとらえ、文意を適切に理解し、主題を把握する
第　6　回 提出期限 12 月　　3 日	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	訓点の種類と用法を学び、漢文を訓読できるようになる。 漢文の内容を把握し、主体的な考察を文章化する	第　　3 回　（１１月２５日） ・送り仮名・返り点・句読点 ・置き字 ・語の意味を適切に理解し、書き下し文に基づき文意と主題を的確に把握する。

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
地理総合	2	1 年	地理総合	東京書籍
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　9　回）での評価			

指導目標

地理的な見方・考え方を働かせ、現代の地理的諸課題、防災・減災、および持続可能な社会の構築に関する地図や地理情報システム（GIS）等の「知識・技能」を習得させるとともに、地域性や広域的なつながりを多角的に考察し、解決の方向性を探究する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、グローバルな視点に立ち、主権者としてより良い社会の形成に「主体的に参画・寄与する態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

現代の地理的諸課題、防災・減災、および持続可能な社会の構築に関する基本的な概念や地理的環境の特色を理解し、知識を身に付けている。また、地図や地理情報システム（GIS）を適切に活用して、多様な地理的情報を効果的に収集・整理する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

地球規模で見られる環境問題や地域調査の成果について、地域性や広域的なつながりに着目して多角的に考察し、諸課題の解決の方向性を探究している。また、考察した結果や自らの意見を、地図や図表などを用いて論理的に分かりやすく表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

現代の地理的な諸事象や世界の多様な文化に関心を持ち、グローバルな視点に立って主権者としてより良い社会の形成に貢献しようとしている。また、生活圏の防災や環境保全などの身近な課題に対し、自ら進んで参画・寄与しようとする態度を見せている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　23 日	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会	・私たちが暮らす世界 ・地図や地理情報システムの役割	
第　2　回 提出期限 5 月　21 日	第2編 国際理解と国際協力	・生活文化の多様性と国際理解 ・生活文化と自然環境 ①地形	第　1 回　（5月１３日） 地図の活用と防災 ・位置の表し方、時差、様々な地図の特性 ・自然災害と地域の防災活動
第　3　回 提出期限 6 月　18 日	第2編 国際理解と国際協力	・生活文化と自然環境 ②気候	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　24 日	第2編 国際理解と国際協力	・生活文化と社会環境 ①産業	第　　2 回　（9 月 9 日） 生活文化と世界の諸地域 ・世界の気候景観と人々のくらし、宗教 ・世界の諸地域の変容
第　5　回 提出期限 10 月　　22 日	第2編 国際理解と国際協力	・生活文化と社会環境 ②宗教・民族	
第　6　回 提出期限 11 月　　19 日	第2編 国際理解と国際協力	・地球環境問題	第　　3 回　（１０月２１日） 地球的課題と国際協力 ・地球環境問題、資源・エネルギー問題 ・人口・食糧問題、持続可能な社会への取り組み

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
歴史総合	2	1 年	歴史総合	東京書籍
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

歴史的な見方・考え方を働かせ、近現代の歴史の変化や展開を、日本と世界の関わりの中で構造的に捉える「知識・技能」を習得させるとともに、現代の諸課題を歴史的背景から多角的に考察し、その解決に向けて論理的に構想・表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、主権者としての自覚を持ち、平和で民主的な社会の形成に「主体的に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

近現代における歴史の変化や展開について、日本と世界の関わりや構造的な変化に着目し、その背景にある因果関係や現代社会とのつながりを正しく理解して知識を身に付けている。また、歴史資料を適切に選択・解読し、客観的な事実を読み取る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

現代社会が抱える様々な諸課題について、その歴史的背景や経緯を踏まえ、当時の人々の立場や見方・考え方を考慮しながら多角的に考察している。また、課題解決に向けた方策を論理的に構想し、歴史的な根拠を基に自分の言葉で的確に記述・表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

歴史に対する関心を高め、過去の事象を教訓として現代および未来の社会の在り方を主体的に考えようとしている。また、主権者としての自覚と国際的な広い視野を持ち、平和で民主的な社会の形成に向けて、他者と協働しながら積極的に関わろうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　7 日	序章 歴史の扉	・歴史と私たち ・歴史の特質と資料	
第　2　回 提出期限 6 月　　4 日	第1章 近代化と私たち	・近代化への問い ・アジアの繋栄と 西洋近代の形成	
第　3　回 提出期限 7 月　　2 日	第1章 近代化と私たち	・世界の一体化と 多様な近代化	第　　1 回　（7 月 1 日） 近代化と私たち ・産業革命と市民革命、欧米列強の進出 ・明治維新と日本の近代化、立憲国家の成立

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 10 月　　8 日	第1章 近代化と私たち	・世界の一体化と 多様な近代化	第　　2 回　（9月３０日） 大衆化と私たち ・第一次世界大戦と大量生産・大量消費社会 ・総力戦体制、第二次世界大戦と戦後秩序の模索
第　5　回 提出期限 11 月　　5 日	第1章 近代化と私たち	・世界の一体化と 多様な近代化	
第　6　回 提出期限 12 月　　3 日	第1章 近代化と私たち	・世界の一体化と 多様な近代化	第　　3 回　（１１月１１日） グローバル化と私たち ・冷戦の展開と経済のグローバル化、多様な自立 ・現代の課題、国際社会の変容とこれからの歴史

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
数学Ⅰ	3	1 年	改訂版 新数学Ⅰ	東京書籍
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回）,面接指導（年　4　回）での評価			

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数と式、2次関数、データの分析などの数理的な事象における基本的な概念や原理・法則の「知識・技能」を確実なものとするとともに、事象を数理的に捉えて論理的に考察し、問題を解決する過程を振り返って表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、数学のよさを認識し、数学を「主体的に生活や学習に活用しようとする態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

数と式、2次関数、およびデータの分析における基本的な概念、原理・法則を深く理解し、数学的な知識を身に付けている。また、数式を正確に計算・変形し、関数のグラフを的確に描画するとともに、統計データを適切に処理・分析する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

日常の事象や数理的な事象の中から数学的な課題を見出し、適切な数式やグラフ、表等を用いて事象を数理的に捉えて論理的に考察している。また、問題を解決するプロセスを振り返り、得られた結論の妥当性を判断して、その根拠を的確に説明・表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

数学の持つ有用性や論理的な美しさを認識し、数学的な見方・考え方を自らの生活や他の科目の学習に主体的に活用しようとしている。また、困難な問題に対しても粘り強く取り組み、事象の背後にある規則性を進んで見出そうとする態度を持っている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　　23 日	数と式 ◯整式	整式とその加減	
第　2　回 提出期限 5 月　　21 日	数と式 ◯整式	整式の乗法	
第　3　回 提出期限 6 月　　18 日	数と式 ◯整式	整式の乗法	第　　1 回　（6月１０日） ・多項式と数のかけ算，多項式の加法・減法 ・指数法則，単項式の乗法 ・分配法則を用いての多項式を展開 ・乗法公式
第　4　回 提出期限 7 月　　2 日	数と式 ◯整式	因数分解	第　　2 回　（6月１７日） ・乗法公式を逆に用いて因数分解する ・x2の係数が1以外の多項式を因数分解する

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　5　回 提出期限 9 月　　24 日	数と式 〇実数	実数	
第　6　回 提出期限 10 月　　8 日	数と式	平方根とその計算	第　　3 回　（9 月 2 日） ・平方根について ・根号を含む式の基本的な計算，分母の有理化
第　7　回 提出期限 10 月　　22 日	数と式	1次不等式	
第　8　回 提出期限 11 月　　19 日	数と式	連立1次不等式	第　　4 回　（１１月１１日） ・不等式の解の意味，不等式の性質について ・不等式を変形，解について
第　9　回 提出期限 12 月　　3 日	２次関数	関数の値、座標、1次関数	

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
数学A	2	1 年	改訂版 新数学A	東京書籍
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、場合の数と確率、図形の性質などにおける事象の「知識・技能」を習得させるとともに、直感や経験だけでなく、論理的な根拠に基づいて筋道を立てて思考・判断し、数学的な表現を用いて的確に説明する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、数学の論理的な美しさを実感し、諸課題の解決に「主体的に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

場合の数と確率、および図形の性質に関する基本的な概念や性質を正しく理解し、数学的な知識を身に付けている。また、順列・組合せの計算を正確に行い、確率を的確に求めることや、論理的な手順に沿って図形の性質を証明する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

直感や経験だけに頼るのではなく、論理的な根拠や命題の構成に基づいて筋道を立てて思考・判断している。また、多様な事象を数学的な表現（集合のベン図や樹形図など）を用いて整理し、問題の解決に至るプロセスを他者に対して明確かつ的確に説明している。

【主体的に学習に取り組む態度】

場合の数や図形の論理的な構造に関心を持ち、数学的な推論の正しさを実感しながら、諸課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。また、自分の思考プロセスを客観的に振り返り、より簡潔で明快な解決方法へ洗練させようとする態度を見せている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　7 日	集合	集合	
第　2　回 提出期限 6 月　　4 日	場合の数と確率 ○場合の数	集合の要素の個数 場合の数	第　　1 回　（6 月 3 日） ・部分集合，補集合，共通部分，和集合 ・補集合，和集合の要素の個数 ・場合の数を樹形図や表に整理して調べる
第　3　回 提出期限 7 月　　2 日	場合の数と確率 ○順列・組合せ	順列 組合せ いろいろな順列	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回	場合の数と確率	事象と確率	第　　2 回　（9 月 3 0 日）

提出期限 10 月　　8 日	○確立とその基本性質	確率の基本性質	・確率の意味 ・確率の加法定理，排反事象の確率 ・余事象の確率
第　5　回 提出期限 11 月　　5 日	場合の数と確率 ○確立とその基本性質 ○いろいろな確率	期待値 独立な試行	
第　6　回 提出期限 12 月　　3 日	場合の数と確率 ○いろいろな確率	反復試行 条件付き確率	第　　3 回　（１２月２日） ・独立な試行の意味，独立な試行の確率 ・反復試行の意味，反復試行の確率

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
科学と人間生活	2	1 年	改訂 科学と人間生活	東京書籍
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　8　回）での評価			

指導目標

科学的な見方・考え方を働かせ、身近な自然の事物・現象や科学技術が人間の生活に果たす役割についての「知識・技能」を習得させるとともに、観察や実験を通じて科学的に探究し、その結果を論理的に考察・処理し表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、自然への畏敬の念を深め、科学的な諸課題に「主体的に関わり、協働して解決しようとする態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

身近な自然の事物・現象、および科学技術が人間の生活に果たしている役割や影響について理解し、科学的な知識を身に付けている。また、観察や実験、科学的な器具の取り扱いを安全かつ適切に行い、その結果を正確に記録・処理する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

日常生活の中から科学的な問いを見出し、観察や実験を通じて科学的に探究するプロセスを組み立てて考察している。また、得られたデータや結果を論理的に分析して規則性を判断し、科学的な根拠に基づいて自らの考察や結論を的確に表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

自然の事物・現象に対する好奇心を高め、科学技術の発展と人間生活の調和について主体的に関心を持って考えようとしている。また、自然への畏敬の念を深めながら、環境問題などの科学的な諸課題に対して、他者と協働して解決を試みようとする態度を見せている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　　23 日	科学技術の発展 生命の科学 〇ヒトの生命現象	科学技術の発展 ヒトの生命現象 ・タンパク質と遺伝子 ・ヒトの視覚と光	第　　1 回　（5月２０日） 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解し，科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて科学的に考察し表現する。
第　2　回 提出期限 5 月　　21 日	生命の科学 〇ヒトの生命現象	ヒトの生命現象 ・血糖濃度の調節 ・免疫	第　　2 回　（6月３日） 遺伝子のはたらき，視覚，血糖濃度の調節，免疫についての基本的なしくみを理解する
第　3　回 提出期限 6 月　　18 日	生命の科学 〇微生物とその利用	微生物とその利用 ・生態系における微生物 ・微生物と人間の食生活 ・微生物と医学への利用	第　　3 回　（6月１０日） 生態系での物質循環における微生物のはたらき，発酵食品や医薬品への微生物の利用について理解する。
			第　　4 回　（7月１日） ・ヒトの眼の構造と視覚のはたらきについて理解を深める

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
			第　　5 回　（9 月 9 日） SDGsについてグループワークを通して理解を深める。
第　4　回 提出期限 9 月　　24 日	物質の化学 〇材料とその利用	材料とその利用 ・プラスチック ・金属	第　　6 回　（１０月 7 日） 身近な材料であるプラスチックや金属の種類，性質及び用途について理解する。
第　5　回 提出期限 10 月　　22 日	物質の化学 〇材料とその利用	材料とその利用 ・セラミックス ・セラミックス	第　　7 回　（１１月１８日） セラミックの用途について理解する。また、資源の再利用について考える
第　6　回 提出期限 11 月　　19 日	物質の化学 〇衣料と食品	衣料と食品 ・衣料の科学 ・食品の科学	第　　8 回　（１２月２日） 身近な衣料材料の性質や用途，食品中のおもな成分の性質について理解する

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
体育	3	1 年	現代高等保健体育	大修館
評価方法	添削指導（計　3　回），試験（年２回），面接指導（年　15　回）での評価			

指導目標

スポーツに関する見方・考え方を働かせ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための各種種目の特性に応じた技能や安全管理の「知識・技能」を習得させるとともに、自己の体力や技術に応じた課題を見つけ、その解決に向けて練習方法や作戦を工夫し他者に伝える「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、ルールを遵守し互いに協働しながら、多様な運動に「主体的に親しむ態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

各種運動種目（球技、陸上競技、器械運動など）の特性や技術、および安全管理の方法について正しく理解し、知識を身に付けている。また、それぞれの種目に応じた基本的な身体動作や戦術を、実際の運動場面において安全かつ的確に実践できる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自己やチームの体力・技術レベルに応じた課題や目標を的確に見出し、その解決に向けて有効な練習方法や作戦を工夫して組み立てている。また、運動の実施場面や協議において、状況の変化を素早く判断し、自らの意図や動きを他者に分かりやすく伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するために、自ら進んで多様な運動に親しみ、技術の向上や体力の維持に主体的に取り組んでいる。また、スポーツマンシップやルールを遵守し、互いの違いを認め合いながら協働して活動を支え合おうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
			第　1～3　　回　（4月30日） 【実技】 授業を受ける上での諸注意 集団行動、スポーツレクレーション
第　1　回 提出期限 5 月　　7 日	スポーツの発祥と発展	・スポーツの始まりと変換	
			第　4～5　　回　（5月27日） 【実技】 準備体操 バドミントン
			第　6～7　　回　（6月22日） 【実技】 準備体操 ソフトバレーボール

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
			第　　8　　回　（7月8日） 【座学】 前期のまとめ 体育祭の目的と準備、練習計画
第　2　回 提出期限 9 月　　24 日	スポーツの発祥と発展	・文化としてのスポーツ ・オリンピックとパラリンピックの意味	
			第　9～１０ 回　（9月１６日） 【実技】 準備体操 バドミントン
			第　11～12　回　（１０月１４日） 【実技】 準備体操 ソフトバレーボール
			第　13～14　回　（１０月２８日） 【実技】 準備体操 バドミントン
第　3　回 提出期限 11 月　　19 日	スポーツの発祥と発展	・スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境	第　　15　　回　（１１月２５日） 【座学】 ドーピングについて １年間の振返り

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
保健	1	1 年	現代高等保健体育	大修館
評価方法	添削指導（計　3　回），試験（年２回），面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

健康に関する見方・考え方を働かせ、個人及び社会生活における健康・安全に関する科学的な「知識・技能」を確実に習得させるとともに、現代社会の健康課題や災害時の安全確保について的確に認知・判断し、課題解決に向けて行動を選択し表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、生涯にわたって自他の心身の健康を保持増進し、健康で活力ある社会の形成に「主体的に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

個人および社会生活における心身の健康の保持増進、ならびに安全の確保に関する科学的な原則や仕組みを正しく理解し、知識を身に付けている。また、現代社会における精神保健、感染症対策、および応急手当などの実践的な方法を理解し、日常生活で活用できる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

現代社会における多様な健康課題や災害時・事故時の安全確保について、発生要因や背景を多角的に分析して的確に認知・判断している。また、自他の健康・安全を守るための適切な行動や環境づくりについて、課題解決の方向性を構想し表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

生涯にわたって自他の心身の健康を保持増進することの重要性を自覚し、健康な生活習慣を主体的に形成・実践しようとしている。また、変化する社会環境に関心を持ち、誰もが健康で活力ある生活を送れる社会の形成に向けて、自ら進んで行動しようとする態度を見せている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 6 月　18 日	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	第　1 回　（4 月 2 2 日） 社会の変化にともない、健康や安全の問題は多様化してきている。健康の考え方や健康づくりのあり方が変化してきたことやその背景をふまえた上で、私たちが暮らす現代社会における健康について学ぶ。
第　2　回 提出期限 10 月　22 日	現代社会と健康	生活習慣病とその予防 がんの原因と予防、治療と回復 喫煙、飲酒と健康 薬物乱用と健康	
第　3　回 提出期限 12 月　3 日	安全な社会生活	応急処置の意義 AEDの使い方	第　2 回　（１１月１３日） 応急手当の意義やAEDを用いた心肺蘇生法のあり方を理解した上で、私たちが暮らす現代社会における安全な社会生活について学ぶ

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
音楽Ⅰ	2	1 年	音楽Ⅰ 改訂版 Tutti＋	大修館
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　8　回）での評価			

指導目標

音楽的な見方・考え方を働かせ、多様な音楽活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）を通した表現技術や背景にある文化の「知識・技能」を習得させるとともに、音楽の美しさや構造的特徴を感知し、自らの思いや意図を持って創意工夫し表現・鑑賞する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、豊かな感性を磨き、音楽の多様性を認め、生涯にわたり音楽を「主体的に愛好する態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

多様な音楽活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）を通じ、楽譜の読み方、発声や楽器の演奏技術、および音楽の背景にある歴史や文化についての知識を深めている。また、自らの創意工夫を音楽表現（演奏や創作）に適切に反映させることができる確かな技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

音楽を構成する要素（音色、旋律、リズム、強弱など）や曲の構造的な特徴を繊細に感知し、作曲者の意図や楽曲の美しさについて多角的に考察している。また、自らの思いや表現の意図を明確に持って音楽を表現し、鑑賞した内容を論理的に評価し表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

音楽が持つ感性を豊かにする力を実感し、生涯にわたり音楽を主体的に愛好し、生活を豊かに彩ろうとする態度を持っている。また、世界の多様な音楽文化の価値を認め、他者の表現や異なる音楽性を尊重しながら、協働的に音楽活動に参加しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　7 日	楽典 音楽史 歌唱	・音符、休符、記号について ・西洋音楽史について ・日本歌曲「この道」	第　　1 回　（4 月 2 2 日） 「音楽Ⅰ」学習の概説 学習上の注意事項や学習手順を理解する。 「音楽を形づくっている要素」を通して、要素 それぞれのはたらきに注目し、理解を深める。
第　2　回 提出期限 6 月　　4 日	楽典 音楽史 歌唱	・音楽記号 ・西洋音楽史について ・ドイツ歌曲「野ばら」	第　　2 回　（5 月 1 3 日） 「音名、音符の長さを理解する」 「大譜表と音名」「音符と休符」を通して、楽譜の 見方と音名について理解する。
			第　　3 回　（5 月 3 0 日） これまでに学んだ「発声のしくみ」とを生かし、 歌詞の内容や表現を考察しながら、歌う。 「この道」、「野ばら」
第　3　回 提出期限 7 月　　2 日	歌唱 鑑賞	・発声について ・世界のさまざまな音楽 ・カンツォーネ 「オー・ソレ・ミオ」	第　　4 回　（7 月 8 日） 「バロック時代の特徴について理解を深める」 バロック時代の背景、代表的な作曲家、音楽の 特徴について理解する。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
			第　　5 回　（9月2日） 「古典派の音楽について理解を深める」 古典派の時代背景、代表的な作曲家、音楽の特徴について理解する。古典派の作品を鑑賞し、古典派の特徴に注目しながら鑑賞する。
第　4　回 提出期限 10 月　　8 日	楽典 歌唱	・コードネーム ・形式 ・「Danny boy」	第　　6 回　（１０月７日） 「ギターについて理解を深める」 ギターの種類と音色、各部の名称について理解する。 ギターのさまざまな奏法に注目しながら作品を鑑賞する。
第　5　回 提出期限 11 月　　5 日	鑑賞 音楽史	・日本の民謡と芸能 ・日本の音楽 ・「会津磐梯山」	第　　7 回　（１１月２５日） 「日本音楽史について理解を深める」 「日本音楽史」、「いろいろな日本の芸能」「日本の音楽の源流」から日本の音楽について理解を深め、鑑賞する。
第　6　回 提出期限 12 月　　3 日	音楽史 鑑賞	・世界の作曲者 ・『L'inverno「冬」』	第　　8 回　（１２月２日） 「もっと音楽を楽しむために」 これまでの学習のまとめ、音楽と自分との関わり方について考える

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
英語コミュニケーションⅠ	3	1 年	All Aboard! English Communication Ⅰ Revised	東京書籍
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　12　回）での評価			

指導目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと［やり取り］、話すこと［発表］、書くことの五つの領域におけるコミュニケーションの基礎的な「知識・技能」を確実に習得させるとともに、日常的な話題について情報や考えなどを的確に理解したり、目的に応じて適切に表現し伝え合ったりする「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、言語や文化への理解を深め、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

英語の音声、語彙、文法、文構造、および英語特有の表現に関する基礎的な知識を確実に身に付けている。また、日常的な話題について、英語の五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと［やり取り・発表］、書くこと）を通じて適切に運用できる基礎的な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

日常的な話題に関して、英語で聞いたり読んだりした内容から概要や要点を的確に理解し、状況に応じて適切に判断している。また、自分の考えや気持ち、事実関係について、相手や目的に応じて適切な語彙と論理的な構成を工夫し、英語を用いて適切に表現し伝え合っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

英語の学習を通じて言語やその背景にある文化への理解を深め、自ら進んで積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。また、他者を尊重し、聞き手や読み手に配慮しながら、自律的かつ主体的に英語を用いて自己の考えを発信しようとする態度を見せている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　23 日	Lesson1	現在形、過去形、 SVO（O＝that節）	第　1 回　（5月１３日） 英語の世界に親しもう 自己紹介の表現を学ぼう 自分の趣味について話してみよう
第　2　回 提出期限 5 月　21 日	Lesson1	現在進行形	第　2 回　（5月２０日） ・好きな食べ物について、英語で述べることができる。 ・昨日何をしたか、対話をしてみる。
	Lesson1	過去進行形	第　3 回　（6月３日） 過去にしたことを伝えよう 過去の状態について説明しよう
第　3　回 提出期限 6 月　4 日	Lesson2	助動詞	第　4 回　（6月１０日） 今していることを伝えよう 相手に質問してみよう できることを伝えよう
第　4　回 提出期限 6 月　18 日	Lesson2	受け身	第　5 回　（6月１７日） 目的を伝えよう 理由を加えて説明しよう
	Lesson2	助動詞のついた受け身	第　6 回　（7月８日） レッツトライ！ 自分の夢や目標を発表しよう 文と文をつないで会話してみよう

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　5　回 提出期限 9 月　　24 日	Lesson3	動名詞 to不定詞	第　　7 回　（9 月 9 日） 楽しんでいることを伝えよう
第　6　回 提出期限 10 月　　8 日	Lesson4	現在完了形	第　　8 回　（9 月 3 0 日） 得意なことを伝えよう 買い物をしてみよう
	Lesson4	現在完了進行形 過去完了形	第　　9 回　（１０月７日） 小ばなしで聞き手を楽しませよう 写真や絵を説明しよう
第　7　回 提出期限 10 月　　22 日	Lesson5	関係代名詞	第　　10 回　（１０月２１日） 写真や絵について質問し合おう 2つのものを比べて説明しよう
第　8　回 提出期限 11 月　　5 日	Lesson5	関係代名詞	第　　11 回　（１１月１８日） 「～したことがある」と伝えよう 「ずっと～している」と伝えよう
第　9　回 提出期限 11 月　　19 日	Lesson5	It is …to 不定詞	第　　12 回　（1 月 1 3 日） レッツトライ！ 鉄道の乗換案内をしてみよう

令和8年度　青森山田高等学校　通信制課程東京校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
総合的な探究の時間	1	1 年		
評価方法	添削指導（計　2　回），　面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

探究のプロセスに関する見方・考え方を働かせ、自己の興味・関心や身近な事象を起点とした課題設定や情報収集に関する基礎的な「知識・技能」を習得させるとともに、自らの適性や在り方生き方を見極める「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、未知の課題に対しても主体的に解決の方向性を探究しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

探究活動の一連のプロセス（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）の意義や、図書館やインターネットを用いた適切な情報収集の手法について正しい知識を身に付けている。また、収集したデータを分類・整理し、基礎的なワークシートにまとめる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自己の興味・関心や身近な事象の中から適切な問い（探究課題）を設定し、集めた情報を多角的に分析して自己の在り方生き方と関連付けて思考している。また、探究したプロセスや自分の考えの変容について、他者に分かりやすく伝えるための表現を工夫している。

【主体的に学習に取り組む態度】

自ら進んで未知の課題に関心を持ち、課題の解決に向けて主体的に探究活動を進めようとしている。また、自己の特性や適性を見極めようとする前向きな姿勢を持ち、活動全体を客観的に振り返ることで、次の学習ステップへ繋げようとする態度を身に付けている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 6 月　　4 日	学びの技法と自己分析	自己の興味・関心や長所を書き出し、自己理解を深める。	第　　1 回　（7 月 1 日） マインドマップ等を用いた自己紹介ワーク。 お互いの「好きなこと」から探究の種を見つける グループワーク
第　2　回 提出期限 11 月　　5 日	身近な地域・社会の課題	自分の住む地域や、身近な生活の中にあるニュース（ゴミ問題、買い物の変化など）からテーマを選び、現状を調べる。	第　　2 回　（１１月１８日） 地域課題解決のためのアイデア出し。 他者の視点を取り入れ、課題の理解を深める。